

ベナン共和国 ウアケ郡 ウアケ-センター行政区
チャラデ公立幼稚園のための
2 教室、事務所、倉庫を擁する 1 棟の建物の建築
および 1 棟のトイレの設置に関する
作業報告書その 1
(2024 年 12 月 4 日から 2025 年 2 月 18 日まで)

チャラデ幼稚園での総会は 2024 年 12 月 4 日午前 9 時に予定されていたため、私たちのチームは前日にウアケへ向かいました。NPO の会長と事務局長に加え、ドイツからのボランティア 2 名も代表団に加わります。

総会は少し遅れて始まりました。いつもの歓迎の挨拶の後、契約書が読み上げられ、翻訳されました。焦点は村人たちの役割にありました。過去ククルンダでの建物建設を見学していたため、村人たちはすでにこの役割について理解しています。それでもいくつか質問があり、それらに答えました。その後の投票で、契約書は満場一致で承認されました。



父親たちが賛成し、女性たちの方では子供たちもが賛成票を投じました。



投票後、私たちは一緒に建設現場を視察しました。地区の技術者がいくつかの提案をし、村人たちはそれを受け入れました。会長が、鉄筋工と型枠工とともに最初の資材調達に出発する間、技術者と石工たちは基礎枠の製作準備に取り掛かりました。村人たちはチーク材の小径の丸太を建設現場に持ち込むと、すぐに手分けして杭に加工しました。ほどなくして型枠工が型枠板を搬入し、いよいよ作業開始です。



最初の砂、セメント、鉄筋が到着するまでに時間はかかりません。レンガ職人たちはすぐに作業に取り掛かります。



一方、住民たちは基礎溝を掘り進めます。



女性たちは建設現場へ熱心に水を運びます。



基礎溝が掘られると、石工たちは最初のコンクリートの層を流し込み、鉄筋を設置して、柱を立てます。型枠のおかげで、この作業は比較的容易です。そして2層目のコンクリートを流し込みます。



基礎が乾燥した後にブロックを重ねていくと、あっという間に基礎壁が完成します。



下部の鉄アンカーが設置され、型枠が取り付けられて
コンクリートが打たれました。
電気技師が接地工事をおこないました。



下部鉄アンカーの上に壁が構築されます。窓の開口部の下辺には小さな鉄製アンカーが挿入されました。



窓の上辺まで壁が建てられました。



ベランダの柱も打設されました。



この高さで上部の鉄アンカーを準備し、一気にコンクリートを打設します。



まだまだ作業は進みます！ 屋根の下の鉄アンカーまで壁が積み上がると、この鉄アンカーを打設しました。





その上に破風が構築されました。



壁が完成したら、スロープを建設します。



壁が乾く間に、レンガ工たちはトイレの穴をブロックで囲みます。



トイレの穴の内側はシカリットとシカラテックスで塗装されました。



トイレの穴が閉じられました。



その上にトイレの個室が建てられます。



その後、小さなテーブルとベンチがコンクリートで作られました。





建物の壁が乾くと、今度は大工たちがチャラデへ向かいます。彼らはエボニーの木材を探し、サイズに合わせて切断してもらいます。切断された木材は建設現場に運ばれ、並べられ、防虫剤が塗布されます。



次に梁を製作します。



梁が完成すると、今度は桁を設置していきます。



最後に、エタニットの屋根板が固定されました。



現在、セメントの価格が急騰しているため、左官作業はしばらく待つことにしました。価格が早く安定することを願っています。

私たちのプロジェクトを支えてくださった皆様、そして友人の皆様から心から感謝申し上げます。また、このプロジェクトに資金を提供してくださった「Fly and Help」協会とドイツ連邦経済協力開発省の職員の皆様にも感謝申し上げます。

ベナンより心をこめて
當田アストリット